

ACANTHUS



特集

高松駅キャンパス ついに開学!!

Index

学長挨拶…………… 2

【特集】高松駅キャンパス ついに開学!! …… 3

MONTHLY NEWS 2024-2025 …… 8

【連載】学科教員紹介 (徳島C・高松駅C) …… 14

研究紹介…………… 18

アカンサス会だより…………… 19

2025年度 保護者会支部会…………… 22

2024年度 退職者一覧…………… 22

村崎学園紹介…………… 23





「あなたの未来を創る 徳島文理大学」



新学長 梶山 博司

Profile

1980(昭和55)年3月 広島大学理学部卒業、1982(昭和57)年3月 同大学院博士前期課程修了、1982(昭和57)年4月 株式会社日立製作所入社、基礎研究所にて金属・半導体の研究に従事。平成元年 ノースウェスタン大学マコーミック工学院博士研究員、2003(平成15)年4月 東京大学生産技術研究所寄附研究部助教授、2005(平成17)年11月 広島大学大学院先端物質科学研究科先端ディスプレイ科学講座教授。2012(平成24)年4月 徳島文理大学理工学部教授、2020(令和2)年4月 理工学部長・工学研究科長・未来科学研究所長、2021(令和3)年4月 徳島文理大学副学長兼任、2025(令和7)年4月 徳島文理大学学長(～現在)。理学博士(1988(昭和63)年11月、広島大学)、プラズマ理工学討論会会長。専門は、表面物理・量子光学・光合成と代謝の光制御工学。所属学会は、米国家物理学会・米国家材料学会・日本物理学会・日本金属学会・日本化学会・応用物理学会・電気化学会・生物工学会・日本光合成学会。

2025年7月に学園創立130年を迎える本学は、長い歴史と伝統に安住することなく、常に時代に即した教育研究のための変革を重ねてきました。「あなたの未来を創る 徳島文理大学」をスローガンに掲げて、学生の成長、地域の発展に貢献する大学をめざします。

本学は、徳島キャンパスと香川キャンパスに、9学部28学科を有する西日本有数の総合私立大学へと発展してきました。香川キャンパスは、あらたな飛躍を求めてJR高松駅横にキャンパスの移転を敢行し、2025年3月に開学しました。徳島県と香川県の玄関口に位置する大学として、さらなるブランド力の向上をめざします。

本学は、地域のニーズに応える「特色ある教育・研究」を推進しています。9学部が連携して、地域の健康や福祉・教育・食料・食糧・災害・公共政策など、SDGs(持続可能な17項目の開発目標)に寄与する教育・研究を展開しています。

これまでに、緑藻類成長因子「サルーション」の合成に成功し、世界で初めてのあおさのり陸上養殖プラントの実用化(薬学部)、災害時、車いす利用者の介助者のための屋外避難を想定した訓練用教材の開発(理学療法学科)、もち麦生パスタなどのもち麦加工食品の開発(食物

栄養学科)、「シカ肉シチュー」などのジビエ料理の開発(短期大学部生活科学科食物専攻)、介護・福祉ロボットや災害レスキューロボットの開発(機械創造工学科)、野菜や穀物の増産効果がある特殊光の開発(ナノ物質工学科)など、地域現場に立ちながら課題を解決するスタイルを貫くことで、SDGsの理念に沿った研究成果をあげています。

学生教育の面では、堅実な知識・技術、国家資格を取得できるカリキュラムに加え、AI・データサイエンスなどの新しい教育プログラムを全学部で導入しています。

本学の教職員は、学生一人ひとりの学修状況等をリアルタイムで把握して、必要な支援や助言を直ちに行うことを心がけています。学生さんのがんばりもあり、卒業生の就職率や国家試験合格率は、ほとんどの学科で全国平均を上回っています。本学でがんばり続けた皆さんを心から労うとともに、将来の大きな飛躍を願っています。

私たちの社会には、環境・人びとの健康・経済など、社会全体で取り組むべき多くの課題があります。本学は、世界の持続的成長に貢献するために、教育・研究を一層強化して、SDGsを推進する人材を育成してまいります。

2025
3/11
Tue

高松駅キャンパス 開学式

3月11日(火)、高松駅キャンパスの開学式が行われました。来賓の皆さま、設計・施工関係者、教職員約250人が一堂に会し、定礎式・開学式・テープカットセレモニー、そして内覧会が行われ、新しい学校の幕開けを祝う歴史的な一日となりました。

定礎式

高松駅キャンパスの完成を記念して、学園関係者と設計・施工関係者が出席し、1階ピロティにて定礎式が執り行われました。定礎式とは建造物の永遠の堅牢ならび安泰・繁栄を祈願する儀式のことです。式典では神事を行い、定礎の儀にて定礎箱の中に当日の四国4県の新聞と通貨、学校案内(大学、中・高、小、幼)、写真などを入れて収めました。高松駅キャンパスと学園全体がこれまで以上に発展することを祈念いたしました。



定礎 2025の「定礎2025」は村崎正人前理事長が、「[5]」は村崎文彦現理事長が書いた文字です

開学式

開学式は高松駅キャンパス ムラサキキネンホールで行われ、来賓の方々や設計・施工関係者、学園関係者ら約250人が参列しました。式典前には4月から高松駅キャンパスで学ぶ学生たちの声をまとめた動画や香川キャンパスの移りゆく姿、ならびに完成までの施工の様子動画が映し出され、その後、音楽学部の教員と学生による管弦楽器アンサンブルのウェルカム演奏が行われました。早雲事務局長の挨拶の後、来賓の香川県知事・池田様、香川県議会議長代理・氏家様より祝辞をいただき、学園からは田村学長、村崎理事長が挨拶を行いました。最後は教職員一同で徳島文理大学の歌を斉唱し、開学式を無事に終えることができました。本学の歴史が新たに刻み始めたことを大変嬉しく思っています。



テープカット

開学式後は、1階の玄関前でテープカットセレモニーが行われました。音楽学部のファンファーレでおおいに盛り上がり、くす玉が開かれた瞬間に、会場が大きな拍手に包まれました。



内覧会

内覧会では、開学式にご参加いただいた皆さまを本学の職員が真新しいキャンパスにご案内しました。最上階の18階に到着すると天空の茶室や展望デッキから見える素晴らしい景色に、皆さま釘付けとなりました。また、テレビや新聞など約20社の報道関係の方々にもお越しいただき、11階の屋外運動場で戸川広報企画監が囲み取材を受けました。ご案内した皆さまからたくさんのご質問をいただき、当日の報道等にも流れ、高松駅キャンパスへの注目度の高さがうかがえました。



全容公開

高松駅キャンパス



各階フロア図

	18F	ホバリングスペース	天空の茶室
	17F	教員室	研究実験室
	16F	教員室	薬学実験室
	15F	教員室	薬学実験室 薬学研究室
	14F	教員室	講義室
	13F	教員室	理工実験室
	12F	教員室	理工実験室
	11F	DXファクトリー	リビングラボ
屋外運動場	10F	薬学実習室	
アリーナ (8F・9F・10F)	9F		学生実習室
トレーニング室	8F	中央機器室	チャレンジラボ 理工実習室
教員室 ラーニングcommons	7F	教員室 実験室 教職演習室	多目的実習室
村崎サイ記念図書館 記念室	6F	教員室	臨床工学実習室・実験室
	5F	教員室	診療放射線実習室・実験室
	4F	教員室	診療放射線実習室 PC教室
ムラサキキネンホール (大講義室)	3F	講義室	
	2F	事務室	保健センター
駐輪場 実習工場	1F	食堂(アカサス) コンビニ(ローソン)	防災センター
	B1F	地下駐車場	

西棟

東棟

設計コンセプト

学園創立130周年を迎える本学の香川キャンパス全面移転プロジェクトです。香川県さぬき市志度にある11.6haのキャンパス機能を、四国の玄関口であるJR高松駅の隣接地に移転・集約し、5学部10学科3研究科の教室・研究施設・食堂・大講義室・図書館・アリーナからなる「都市型キャンパス」として整備しました。

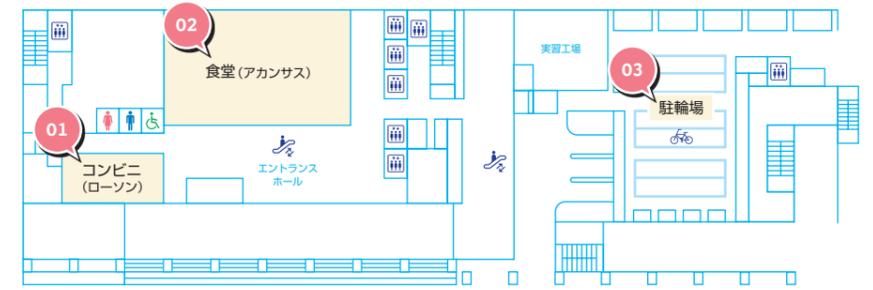
施設は地上18階・地下1階の高層棟（東棟）と地上8階の低層棟（西棟）からなり、施設中央にEV・エスカレーターを集約することで効率的な移動動線としました。高層棟（東棟）は主に研究室・講義室で構成され、1階には食堂、地上18階には瀬戸内海を見渡す茶室と展望デッキを配置しました。低層棟（西棟）には音楽ホールとしても利用できる800席の大講義室・図書館・アリーナを設け、屋上には人工芝の屋外運動場を配置しました。図書館は6・7階の施設中央に設け、立ち寄りやすく協働学習が可能な学びと交流の拠点となるよう計画しました。その他、建物各所のラウンジ整備、営業時間外の食堂の学習利用など、学生の居場所の充実を図っています。

敷地の東西にはエントランス広場や薬草園を設け、地域に公開された都市空間を整備するとともに、正面玄関となるピロティ空間には敷地の高低差をいかしたベンチを設け、地域との交流促進を図っています。



1F

コンビニ（ローソン）と食堂（アカサス）は一般の方にもご利用いただけます。コンビニは営業時間が平日は7時～19時、土曜日は7時～15時となっており、食堂の営業時間外は学生の自習室として開放しています。西棟には通学に便利な駐輪場（413台駐輪可能）があります。



01 コンビニ (ローソン)



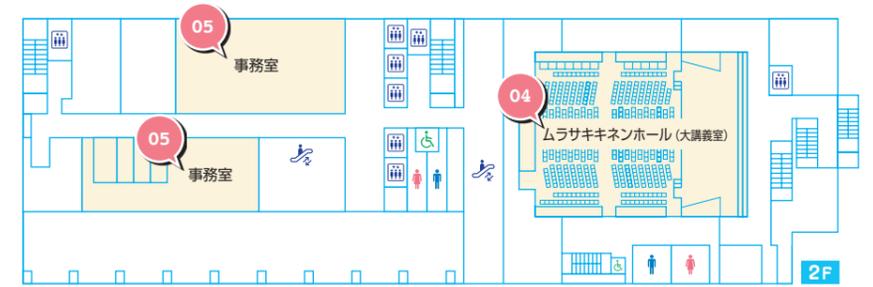
02 食堂 (アカサス)



03 駐輪場

2F-4F

大人数の講義や式典などを行う、最大800人収容可能なムラサキキネンホール（大講義室）は、音響設備も備えており、音楽ホールとしても使用できます。事務室では職員が常駐しており、勉強面や生活面で学生をサポートします。



04 ムラサキキネンホール (大講義室・2～4F)



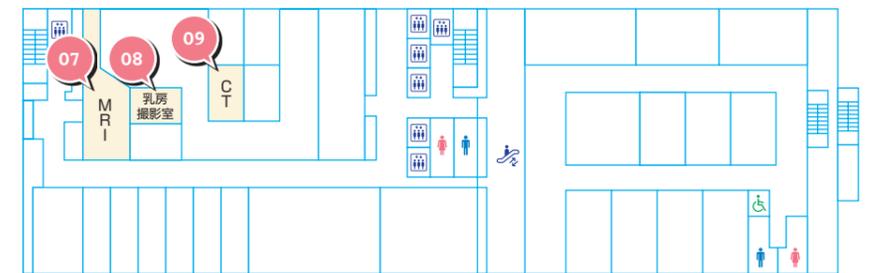
05 事務室



06 PCルーム (4F)

5F

診療放射線学科のフロアとなっており、MRI（磁気共鳴画像診断装置）やCT（コンピュータ断層診断装置）など、普段病院で見られる機器類が入っており、学生は医療現場さながらの雰囲気です。



07 MRI (磁気共鳴画像診断装置)



08 乳房撮影室

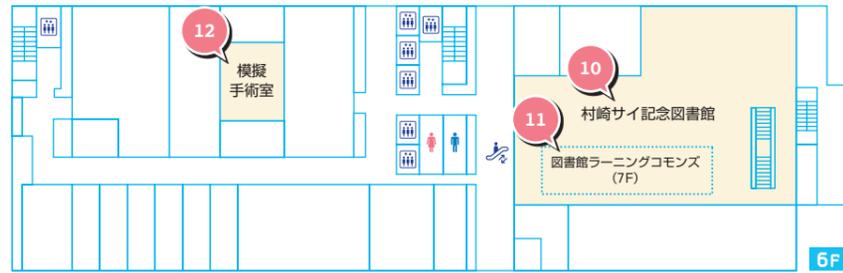


09 CT (コンピュータ断層診断装置)



6F-7F

図書館はフロア全体が本に囲まれた空間になっており、中心部にはシンボルツリー（シェフレラ）があります。ラーニングcommonsではディスカッションやプレゼンテーションを効率よく学べます。臨床工学科の模擬手術室では実際の手術室と同じ環境で学習ができます。



10 村崎サイ記念図書館 (6・7F)



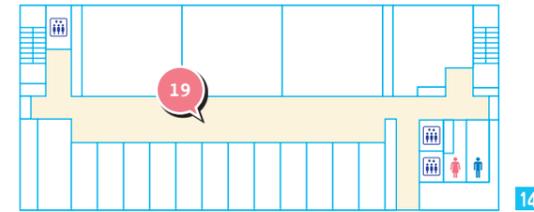
11 図書館ラーニングcommons (7F)



12 模擬手術室

12F-17F

講義室・実験室・教員室で構成されています。今年度から新設された経営学科のフロアは廊下がオープンスペースとなっており、授業や自習などで自由に活用いただけます（写真19）。また、一人一台使用することができるロッカーを設置しています。



18 経営学科 (14F)



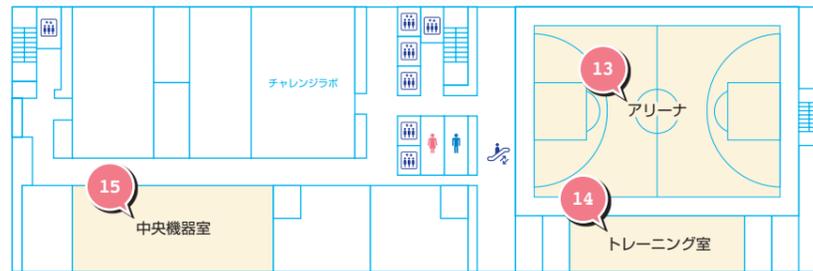
19 廊下



20 学生ロッカー

8F

天井高 12.5mのアリーナでは屋内競技やダンスなどさまざまなスポーツが楽しめます。ダンスの動きなどが確認できる大きな鏡なども設置されています。トレーニング室では最新のマシンで体を鍛えることができます。香川薬学部の中央機器室では最先端の分析機器や装置が揃っており、教育や研究にいかされています。



13 アリーナ (8F・9F・10F)



14 トレーニング室



15 中央機器室

18F

天空の茶室（正庵）は、茶の湯を楽しみながら高松市内や瀬戸内海の素晴らしい景色を堪能することができる茶室となっています。2025年5月には裏千家家元の千宗室様をお招きし、お茶室開きを行います。また、災害が起こった際の緊急救助スペースとして東棟の屋上にはホバリングスペースを設置しています。



21 天空の茶室（正庵）



22 展望デッキ

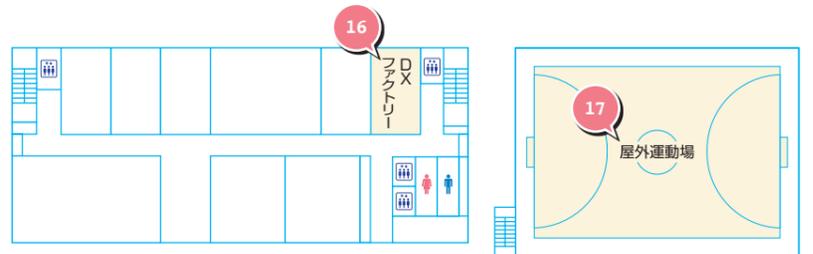


23 ホバリングスペース

関係者や周辺施設の方からお祝いのメッセージをいただきました！

11F

機械創造工学科のDXファクトリーは次世代の工場自動化を体験できるAIロボット群が揃っており、最先端の技術に触れて学びを深められます。西棟屋上の屋外運動場ではテニスやフットサルを楽しむことができます。ポール落下防止のため周りをネットで囲んで対策をしています。



16 DXファクトリー



17 屋外運動場



西松建設株式会社
西日本支社 四国支店
文理大高松工事事務所
国安 卓 所長



高松オルネ
原田 宏樹 館長



教務部教務課長
池田 正樹 先生

30年以上建設業に携わっていますが、この高松駅キャンパスが最も大きく、最も難しい建物でした。JR高松駅に隣接した立地条件や、高松市内で4番目となる88.8mの高さを誇るキャンパスを建設するため、約3年間の工事期間中は気が休まる時がありませんでした。しかしながら無事に完成することができたのも、学園の皆さまを始めとした全ての関係者のご尽力とご協力の賜物です。今回のプロジェクトに携わることができ工事関係者一同、誇りに思っています。

徳島文理大学高松駅キャンパスの開校、誠におめでとうございます。未来を担う人材を育成する貴学の門出を心よりお祝い申し上げます。多様な学びと交流が生まれ、学生の皆さまが夢を実現できる場となることを願っております。また、社会に貢献する知識と創造力を育むこの新たな学び舎が伝統を受け継ぎつつ、輝かしい歴史を築かれるとともに街の賑わい創出の原動力となることを期待しております。高松オルネは学生の皆さまのキャンパスライフが充実したものになるよう応援いたします。

2025年度入試の出願者数は、12月までに行われた入試で前年度比1.3倍、1月以降に行われた入試の出願者数も増加しました。特に地元香川県からは2倍と大幅に増加したことから、キャンパス移転や経営学科の新設が理由として考えられます。また受験者数でも、前年度比で地方試験場の宇多津町会場が2.1倍、岡山市会場が2.3倍と増加したことから高松駅キャンパスへの期待の大きさがうかがわれます。この期待に応えるべく、教育と研究に邁進していかなければならないと考えます。

MONTHLY NEWS 8月

高松駅C オープンキャンパス 初の午前・午後の2部制開催!

サポート高松にて行われた香川C(高松駅C)オープンキャンパスは、参加者が昨年度の約1.5倍と大盛況を収めました。特に8月は高校生が夏休みということもあり、予約が殺到し会場に人が入りきらないため、午前・午後の2部制の開催となりました。初の2部制での開催ということで不安もありましたが、高校生・保護者ともに満足していただきました。特に高松オルネの1000円ランチクーポンや高松駅キャンパスの現場見学会は大好評で、嬉しい言葉をたくさんいただきました。

今年度のオープンキャンパスでも、高松駅キャンパス・徳島キャンパスともに参加者を増やし本学がさらに盛り上がりを見せることを願っています。



MONTHLY NEWS 9月

地域と大学が連携! フレイル予防で上板町の健康長寿を応援!

9月16日(月)・祝、上板町で「STOPフレイル! With 徳島文理大学」が開催されました。本学教職員14名・学生37名が参加し、地域住民とフレイル予防に取り組みました。フレイルとは加齢による心身の虚弱のことで、健康寿命を延ばすためにはフレイル予防が大切です。

会場では各学科が特色をいかしたブースを展開。理学療法学科は足腰のチェックと運動相談、口腔保健学科はお口のチェックと歯科相談、人間福祉学科は脳トレゲーム、短大生活科学科食物専攻は食生活相談や野菜摂取量チェックを実施しました。参加者は自身の健康状態を把握する良い機会となりました。

またステージでは、理学療法学科の齋教授がフレイル予防の重要性を参加者と身体を動かしながら講演。音楽療法コースは、音楽の力で会場が一体となり、楽しくフレイル予防を啓発することができました。

能登の教訓を徳島へ ~災害ボランティアについて考える講座を開催~



8月5日(月)、地域と考える防災講座「地方災害における災害ボランティアを考える」を徳島キャンパスで開催しました。学生・自治体職員・防災士ら約70人が参加し、能登半島地震の教訓から、地方災害における災害ボランティアのあり方について考えました。

基調講演では、山田信人氏(徳島県社会福祉協議会)から「災害にも強い、支えあいの町づくりを目指して」、井若和久氏(一般社団法人さいわい)から「能登半島地震の被災者支援活動と南海トラフ巨大地震の徳島県南部の被害想定」についてご講演いただきました。

パネルディスカッションでは、水谷俊之氏(佛教大学)から「佛教大学の災害ボランティア活動について」、柳澤幸夫教授(本学理学療法学科)から「能登半島でのボランティア活動経験 徳島JRAT活動」の報告があり、活発な意見交換が行われました。

参加者からは「平時からの連携が重要」「ボランティア参加への意識が向上した」「徳島での災害への備えの重要性を感じた」といった感想が寄せられ、防災意識の向上に繋がる有意義な時間となりました。

短大食物専攻による食生活相談



2024年度「OSAKA手づくりフェア」

9月6日(金)・7日(土)、人間生活学科は「OSAKA手づくりフェア」(マイドームおおさか)のイベントに参加しました。「OSAKA手づくりフェア」は毎年9月に開催され、西日本地区最大の服飾飾手芸用品の団体が主催する手芸や服飾ホビーのイベントです。

イベント内容は、社会的体験教育を目的として徳島地域文化継承を重点に置き、①学生がつくる「阿波晩茶」紹介・試飲、②学生と製造元のコラボ「徳島おへぎ」紹介・試食・販売、そして、③学生と一緒に楽しく作品制作をするワークショップの3構成で実施しました。

また、SDGsを概念として、学生が自由な発想で廃棄された副資材や古着を活用し、アイデア溢れる独自の作品を企画制作するコンテスト「デコリメイクチャレンジコンテスト」に応募し、見事「特別賞」「コンテスト入賞」を受賞することができました。

本学として、初めて表彰式で学生が賞状をいただくことになり、今までにない成果を挙げました。



特別賞

コンテスト入賞

MONTHLY NEWS 10月

「高松ファミリー&クォーターマラソン in 庵治」

晴天に恵まれた10月27日(日)、「高松ファミリー&クォーターマラソン in 庵治」が開催されました。臨床工学科の2年生と3年生11名が救護班および自転車AED隊として救護ボランティアに参加しました。マラソンの舞台となった庵治は、庵治石だけでなく映画のロケ地としても有名な場所です。自転車AED隊は、給水所待機しながら、傷病者が発生した場合に自転車でAEDを持って駆け付け応急処置を行います。学生たちは普通救命講習会を受講して消防署から受講証を受けており、AEDの使用法など心肺蘇生法や応急処置の方法を学んでいます。日ごろの学習成果を発揮しないことが望ましかったのですが、転倒したランナーの応急処置をサポートし、大活躍だったとお褒めの言葉をいただきました。



山城祭・杏樹祭 開催



10月19日(土)・20日(日)に香川キャンパスで杏樹祭を、10月26日(土)・27日(日)に徳島キャンパスで山城祭を開催しました。

杏樹祭は志度で最後の開催となり、多くの卒業生や地域の方々も訪れてくださるなど、賑やかな雰囲気になりました。ステージでは、お笑いライブや学生たちのパフォーマンス、地元の子どもたちによるダンスなどバラエティーに富んだ大学祭となりました。

山城祭では学生が熱意と工夫を凝らしたイベントや模擬店、徳島出身の人気声優のトークショーが多くの笑顔を生みました。

今年度も絆を大切に、楽しいイベントを企画して新たな大学祭で皆さまをお迎えいたします。ぜひお越しください。



尺八演奏家・藤原道山氏を迎え、音楽のもつ魅力を発信！

10月1日(火)、むらさきホールにおいて地域と考えるSDGs講座⑦「広げよう！音楽の輪」を開催しました。

本講座は、総合大学の良さをいかし、学部を超えた協働的探究の場をめざして企画されたものです。多様化する社会において「音楽すること」の意義や課題を明確にした「基礎講座」に続く「特別講座」では、日本を代表する尺八演奏家で、多方面で大活躍の藤原道山氏（本学客員教授）が演奏と講義を担当しました。その締め括りに、藤原道山氏と音楽学部の学生4名（木管楽器）による共演。藤原道山氏の「生」の音を体感した学生にとっては代えがたい経験となりました。

学内外から多くの方々に参加され、素晴らしい響きと時間を共有することができました。



MONTHLY NEWS 11月

志度キャンパスでの最後の遍路ウォークを終えて



志度キャンパスの恒例行事である遍路ウォークを11月8日(金)に実施しました。昨年の雨模様とは違って変わり、まるで志度キャンパスでの最後の遍路ウォークを祝福してくれたかのような秋晴れの下で実施することができました。学生たちは志度寺から途中前山おへんろ交流サロンに立ち寄り、結願寺大窪寺までの遍路路を、バス移動と徒歩により仲間たちと思いの形を楽しんでいました。

長年お世話になり、卒業生が数々の思い出を残したさぬき市志度を離れることに名残惜しさはありますが、高松駅キャンパス移転後も大窪寺を巡るこの遍路ウォークを継続し、志度で卒業生が築き上げてきた歴史と伝統を今後も少しでも感じることができればと願い、今年度の実施に思いを膨らませています。

「若者発！人権啓発映像コンテンツ発信事業」優秀賞・奨励賞を受賞

11月24日(日)、徳島県立21世紀館において「若者発！人権啓発映像コンテンツ発信事業」の表彰式が行われました。

この事業は、人権の世紀を担う「若者」の視点から、現在の喫緊の人権課題についての正しい理解と認識を深めるためのもので、県内の高校生や大学生等から人権啓発動画の募集を行いました。

その結果、メディアデザイン学科の古本・篠原ゼミの3年生が専門ゼミで作成した次の2作品が優秀賞と奨励賞を受賞しました。

優秀賞 「誰にでもある」
金光智慧さん 田口美緒さん 永野里菜さん

現代は年齢問わず容易にSNSを利用することができるからこそ、匿名性の怖さを自覚し、言葉の見直しを徹底することを訴える作品です。



奨励賞 「ニーズを見よう」
Gao Shenghan さん

女性は生理的面でいろいろな無視できないニーズがあります。男女雇用機会均等法、法整備はされているものの、本当のニーズに目を向けずして支援することを訴える作品です。



ゼミのみんなのおかげで受賞できました！

MONTHLY NEWS 12月



こどものウェルビーイングのために、地域社会がつながり、ひびきあう

地域連携センターと人間福祉学科共催による「地域と考えるSDGs講座⑥／こども家庭福祉連続研修会」を3回にわたり開催しました。第1回は、6月1日(土)に「こどもの権利を守る専門職とは」をテーマに、子どもの権利への理解を深める基調講演とフォーラムを開催しました。第2回は、11月3日(日)・祝に「つながろう！ひびきあうせかい」をテーマに映画上映と子どもの声を聴き、対話することについての講演とミニワークを行いました。第3回は、12月19日(土)に「音楽でつながろう！ひびきあうせかい」をテーマに、ギタリストで作曲家の青柳拓次氏による講演と演奏を聴いた後、実践として参加者全員による「サークル・ボイス」を体験しました。自分の声に参加者全員とひびきあい包まれていく体験によって、大人も子どもも楽しみながら、つながりを感じることができました。

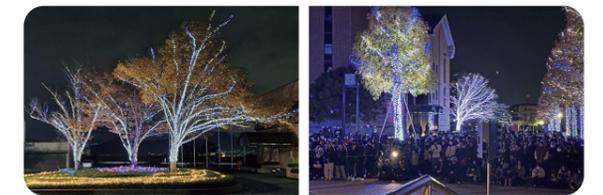


クリスマスイベント開催

香川キャンパスで毎年恒例となっているクリスマスイベントとして、12月16日(月)にダンス部が、18日(水)に軽音フリーミュージック部の演奏が行われました。冬空で冷たい風が吹く中、シックな衣装に身を包んだ学生たちが、寒さを吹き飛ばすような洗練されたダンスを披露しました。また、演奏ではMatthew先生も加わり、学生たちとイベントを盛り上げていました。フレッシュなダンスやロマンティックな演奏は、多くの学生と教職員の心を優しく温めてくれるものとなりました。高松駅キャンパスへ移転後もこのようなイベントを開催し、学生や地域の皆さんとともに楽しいひとときを共有したいと思います。



冬の夜を彩るイルミネーション



本学の冬の風物詩となっているイルミネーション。香川キャンパスでは11月29日(金)、徳島キャンパスでは12月3日(火)に点灯式が開催されました。2025年4月の高松駅キャンパス移転により香川キャンパスでは最後の開催になりました。点灯式ではダンス部や和太鼓部によるパフォーマンス、音楽学部や志度中学校吹奏楽部による演奏などが行われました。両キャンパスともに非常に寒い中での開催となりましたが、地域の方々にもお越しいただきキャンパス全体が盛り上がりを見せるとともに、イルミネーション点灯の瞬間は参加者から歓声が上がって幻想的な光景が広がりました。

1日限定

モラスコむぎで「もちっとむぎゅっとカフェ」開店！

12月21日(土)、徳島県牟岐町の複合施設「モラスコむぎ」で1日限定の「もちっとむぎゅっとカフェ」を開店しました。牟岐町で栽培されている「もち麦」や「モリンガ」を使った料理を地域の方々に味わっていただきました。今回のメニューは、ご飯にもち麦を使ったキーマカレー（税込600円）・モリンガパウダー入りのベリースムージー（同300円）・モリンガパウダーもち麦の粉を使ったシフォンケーキ（同400円）です。

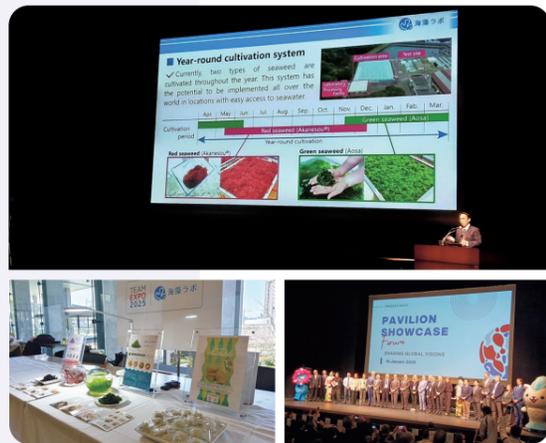
食物栄養学科「もちっとむぎゅっとの会」の学生16名は、早朝7時30分に大学を出発し、開店時間に間に合うように、それぞれの役割をこなしていきました。前もって何度も試作し、打ち合わせを重ねていたので準備もスムーズでした。用意した料理50人分は全て完売し、お客さまからは「もち麦ご飯がぶちぶちして美味しかった」「ベリースムージーでモリンガの美味しい摂り方がわかった」「シフォンケーキはモリンガパウダーで綺麗な色が出るし、もちっとして美味しかった」と高評価をいただきました。モラスコむぎの目の前には、四国八十八景の松ヶ磯・小島の浜があります。絶景を見渡しながらクリスマスのハッピームードの中、料理を堪能していただきました。今回、モラスコむぎまで足を運んでいただき「もちっとむぎゅっとカフェ」に来店して下さった皆さまありがとうございました。



陸上養殖あおさのりが大阪・関西万博「ベストプラクティス」に選定

2017年、薬学部の山本博文教授は食用海藻あおさのりの完全陸上養殖の開発に成功しました。そして、徳島県や民間企業等の連携協定（マリンサイエンスゾーン協定）のもと、海陽町に設立した海藻ラボの活動が「世界の課題解決に向けた重要なプロジェクト」として、大阪・関西万博の「ベストプラクティス」に選定されました。1月16日（木）には、兵庫県姫路市で開催された国際博覧会協会主催の参加国事前会議 2025年（IPM 2025）で、ベストプラクティスのパビリオンを代表し、山本教授が海藻ラボの活動について講演を行いました。会場では、短期大学部生活科学科生活科学専攻とコラボレーションして開発した「あおサブレ」の試食イベントも行われました。

4月から開催される大阪・関西万博にも、本学は海藻ラボのメンバーとして参加し、持続可能な未来社会のデザインに向けて、研究成果や取り組みについて発信する予定です。



「とくしま食育ストリート」へ出展
～学生考案シカ肉料理をおもてなし試食提供～

1月19日（日）「とくしま食育ストリート」（イオンモール徳島）に短期大学部生活科学科が参加しました。このイベントは、6月7日（土）・8日（日）に徳島で開催される「第20回食育推進全国大会 in TOKUSHIMA」のプレイベントとして開催されました。

生活科学専攻は、あおさのりを使用した「あおサブレ」の紹介と販売、食物専攻は「エシカル消費～シカ肉普及活動の取り組み」を紹介した後、2年生の学生考案レシピ「シカ肉和風焼きシューマイ」を徳島県のキッチンカー「でり・ぱりキッチン阿波ふうど号」にて限定100食を提供しました。参加者には、シカ肉についてまとめたチラシを配布し、試食後のアンケートでは「とっても美味しかった」、「購入できるの?」など好意的なご意見を多くいただきました。徳島県の環境問題解決に向けたシカ肉普及活動の励みになったと同時に、新たな商品開発への士気を高める貴重な体験となりました。



IN 沖縄

徳島文理大学卒業生交流深める
—明日来る筋肉痛を信じて駆け抜けろ—



沖縄県在住の本学卒業生の運動会が1月11日（土）、浦添看護専門学校の体育館で行われました。看護学科卒業生の金城真衣さんが、1991年以降の卒業生に呼び掛けて実現したものです。昨年度の参加者は100人余でしたが、今年度は卒業生だけでなく卒業生の子どもの参加もあり、大人65名・子ども50名の計115名の参加となりました。楽しく運動会のプログラムをこなし、久しぶりに会う仲間と交流を深めていました。

運動会は開会の言葉に始まり、昨年度の優勝チームの選手宣誓に続いてスローガン発表がありました。今年度のスローガンは「明日来る筋肉痛を信じて駆け抜けろ」に決定。ルール説明と準備運動を行ってから、台風の目・かけっこ・5色綱引き・玉入れの種目などを実施しました。1歳児の四つんばい歩きもあり、全員が参加できる楽しい運動会となりました。

次年度以降も「明日来る筋肉痛を信じて駆け抜けろ」のスローガンどおりに「家庭でも職場でも徳島文理大学で学んだ知識や技術、人と人の協同をいつも心の糧にしていきたい」と参加者は笑顔で話していました。

理学療法学科卒業生・伊藤憲生さん（3期生）が
ロサンゼルスドジャースの理学療法士として入団！

理学療法学科を2015年度に卒業（3期生）した伊藤憲生さん（愛媛県出身・31歳）が、ロサンゼルスドジャースの理学療法士として入団しました。

伊藤さんは病院実習でお世話になった愛知県の整形外科病院に就職した後、2023年度に難関とされるプロ野球トレーナーの公募に挑戦し、千葉ロッテマリーンズにトレーナーとして採用されました。リハビリ部門のチーフを担う中で、佐々木朗希選手の信頼を得て、2025年度からは佐々木朗希選手とともにロサンゼルスドジャースで理学療法士として働くことになりました。

小学校から野球を始め「将来はプロ野球のトレーナーになりたい」と言っていた伊藤さんの夢がさらに大きくなって実現しました。これからの活躍を楽しみにしています。



総合政策学部生が「黒米ビール」開発
—音楽学部生と「あるでよ徳島」で発表—

特産品をいかした商品開発で地域活性化につなげようと、総合政策学部長の床桜英二教授（経営学）のゼミで学ぶ3年生4名が、阿南市那賀川町産の古代米・黒米を使ったクラフトビールを地域の方々と共同で開発しました。2月15日（土）、徳島市の県物産観光交流プラザ「あるでよ徳島」でお披露目の発売会を開き、町産の新商品「黒米ビール」をPRしました。黒米ビールはフルーティーな香りやなめらかな口当たりが特徴で、心地よい喉ごしをアピールしました。

黒米ビールは今年度350本を生産。価格は330ml 700円（税込）。「あるでよ徳島」で2月27日（木）まで期間限定で販売しました。



香川キャンパス、
高松駅キャンパスへ引越し

香川キャンパスが志度で開学し40年余り。多くの入学生をお迎えし、卒業生をお見送りしました。高松駅キャンパスへ移転するため、志度の学び舎とも3月末をもって別れることとなりました。引越し作業をするにあたり懐かしい物が出てきたり、当時の話で盛り上がり、作業の



手が止まることも。学生や教職員たちとのたくさんの思い出が詰まった場所に感謝し、名残惜しさを感じながら、きれいに片づけて新たなキャンパスへ出発です。4月からは新しいキャンパスでの生活が始まります。香川キャンパスで過ごされた皆さまには時折香川キャンパスを思い出していただけると嬉しいです。長い間お世話になりました。

2024年度
卒業式を挙行

2024年度卒業式は、徳島キャンパスは3月15日（土）、香川キャンパスでは3月17日（月）に挙行されました。

式典では田村学長が大学院生に学位記、専攻科生に修了証書、各学部の総代には卒業証書および学位記をそれぞれ授与しました。その後、各キャンパスの総代は、これまでの学生生活を振り返りつつ、これからの未来に向かって思いを巡らせながら答辞を述べ、会場は厳かな雰囲気になりました。香川キャンパスでは最後の卒業式になりましたが、最後に相応しい式典を執り行うことができました。卒業生の皆さんの門出を祝うことができたことを教職員一同、大変嬉しく思っています。



徳島キャンパス

香川キャンパス

EIJI TOKOZAKURA

総合政策学部長 床桜 英二 先生

総合政策学部 経営学科・総合政策学科

担当授業：キャリアプログラム（経営学科）、組織行動論（総合政策学科）

学歴：兵庫県立大学大学院経営学研究科
博士後期課程修了 博士（経営学）

趣味：トレッキング



総合政策学部は2025年度より徳島キャンパスに総合政策学科、高松駅キャンパスに新設の経営学科として2学科体制になります。経営学科は新設学科として1期生を迎えますが、どのような学科にしていきたいですか。

「理論と実践の融合」、「開かれた学科」を基本に据え、学生や保護者のもとより就活の対象となる企業や行政関係者、そして地域の方々に信頼される学科にして

いきます。

まず、「理論と実践の融合」です。最新理論（経営学・経済学・会計学・データサイエンス・キャリアプログラム）の学びを深めるため、「ビジネスマネジメント」、「会計マネジメント」など5つの履修モデルを提示し実施していきます。また、実践力向上のため、インターンシップなど「現場から学ぶ」ためのプログラムを順次実施していきます。

次に「開かれた学科」です。私が担当

する公開講座ですが、前期は毎週水曜日に「地域経営論（キャリアプログラム）」を開講します。地域活動家や行政リーダーなど素晴らしい講師陣をお招きし、「SDGsと持続可能な地域経営」をテーマに学びを深めていきます。後期は毎週月曜日に「企業発展論（中小企業論）」を開講します。香川県や徳島県など四国に本社を置きながら、世界を相手にビジネスを展開中の経営者をお招きし「VUCA時代における持続可能な企業経営」をテーマに学びを深めていきます。

徳島キャンパスの総合政策学科はいかがでしょう。

本学科入学者の多くが公務員を希望しております。私のゼミ生だけでも、最近時において、徳島県庁・高知県庁・徳島市役所・須崎市役所・国税専門官・徳島県警・愛媛県警・高知県警などに10名を超える合格者を出しております。これを一層推進するため、2024年度、大手受験予備校と連携協定を締結し、取り組みを強化したところですが、一人でも多くの公務員試験の合格者を輩出できるように教育プログラムの見直しを図ることとしております。

また、最近の公務員試験突破のためには学生たちに地域課題解決に主体的に取り組むことで「ガクチカ」を磨くことが不可欠となっております。そこで、学生たちが主体となった「地域課題研究会（仮称）」を立ち上げ、地域からも喜ばれながら、ライバルとして競い合い、仲間として励まし合うような「場づくり」を支援していきます。

学部長として両キャンパスを歩き来ることになりますね。

今年の4月から徳島Cをメインにしなが、高松駅Cでは前期は毎週水曜日に、後期は毎週月曜日に講義を行うこととなります。最近「総合政策学部は『総合政策学科は徳島C』、『経営学科は高松駅C』に離れていて大変ですね」とよく言われます。しかし、徳島駅から高松駅Cまで1時間少々です。まさに「駅直結」の強みだと思っており、行き来することを非常に楽しみにしております。

また、2つのキャンパスを県域をまたいで、それも県庁所在地にもつのは、四国の他の大学にはない大きな強みと考えております。この「2キャンパス方式」の強みを最大限にいかした新たな教育システムの構築に向け、総合政策学部がモデルとなるように、率先して取り組みたいと考えております。

話は変わりますが、先生の趣味や休日の過ごし方を教えてください。

私の趣味はトレッキングです。40才台に神戸市主催の「六甲全山縦走大会（通称：六甲全縦）」に参加しておりました。須磨浦公園から宝塚まで56kmを踏破するというものです。かなりハードなものですので、事前準備を兼ねて11番札所藤井寺から12番札所焼山寺までのいわゆる「遍路ころがし」の15kmを友人とよく歩きました。50才台に入ってから、仕事の多忙さを理由に中断しておりますが、まずは愛犬とともに5kmくらいの山歩きから始め、次に「遍路ころがし」、そして六甲全縦に再挑戦したいと考えております。

前職ではどのようなお仕事をされていましたか。

大学卒業後は徳島県庁で働いておりました。商工行政からスタートし、人事・財政・教育・地域振興・農林・危機管理など主要な部門を経験しました。その中でも印象に残っているのは、地域振興総局長時代に取り組んだ首都圏から過疎地

学生が主体となった地域活動を支援し、

その成果を、マスコミ等を通じて発信していきます

域にIT企業などのサテライトオフィスを誘致する「徳島サテライトオフィスプロジェクト」を企画し、実施したことです。このプロジェクトを契機に、神山町・美波町・三好市など県下全域に全国でもトップクラスのサテライトオフィスの集積ができたことは本当に良かったと思っております。

先生の研究室ではどのようなテーマで研究が行われていますか。

「公式的な権限によらないリーダーシップ」とは何かを探求することです。地域コミュニティの再生・活性化のためには地域リーダーが重要な役割を担います。特に人口減少などにより衰退しつつある地域コミュニティの再生・活性化には強力なリーダーシップが求められます。しかし、地域リーダーには会社の社長のように人事権や予算権など公式的な権限をもちません。権限を背景にしない地域リーダーは何を根拠にリーダーシップを発揮するのかを明らかにするための研究を行っております。

先生の性格を一言でいうと？
座右の銘はなんですか？

座右の銘は「反省すれども後悔せず」です。現在は先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態である、VUCA（ブーカ）の時代と言われております。いかに周到な準備をしても、事前には「これが正しい選択だ」とは言い切れないということです。その際に「迷ったらやめる」か、「迷ったらやる」かの判断が求められます。私は後者の「迷ったらやる」を選択してきました。もちろん可能なかぎりの準備をしたうえで「やる」ですが、これまでの私の経験では「やる」方が失敗することよりも成功するほうが多かったからです。挑戦して上手くいかなかったことを反省するほうが、やらずに後悔するよりも価値があると思っています。

学部長としての意気込みをお願いします。

両学科に共通するのは「学部長は営業部長」との認識のもと、引き続き高校訪問や企業訪問を行います。電話やメールだけではなく、直接お会いして総合政策学部の良さを丁寧に説明していきます。また、総合政策学科と経営学科の学生が合同で学習する機会を作り、両学科の融合を図っていきます。

経営学科ですが、今年度は幸いにして募集定員を上回る学生を受け入れることができましたが、次年度もそのような状況になるかは分かりません。そこで、多くの方々に「文理の経営」を知っていただくために「公開講座」の開講のほか、企業関係者などからなる「文理経営クラブ」の立ち上げ、税理士などの資格取得のための大手予備校との連携などに取り組み、学生の満足度を高めていきます。

次に総合政策学科ですが、引き続き「公務員なら総合政策」をキャッチフレーズに掲げながら、年々変化する公務員試験制度に対応した教育プログラムを構築していきます。さらに、総合政策学科の特徴である「地域課題解決学科」を踏まえ、学生が主体となった地域活動を支援し、その成果をマスコミ等を通じて積極的に発信していきます。

外部環境は日々変化しております。総合政策学部がそうした変化に的確に対応するために、「改革なければ存続なし」との強い決意をもって、学部を運営していきます。



NOBORU FURUTA

文学部長 古田 昇 先生

文学部 文化財学科

担当授業：環境歴史学概論、自然地理学、文化財実習、演習 ほか
学歴：立命館大学大学院文学研究科博士後期課程地理学専攻単位取得
趣味：旅行・写真撮影 など



先生の専門分野について教えてください。

- ・自然地理学（地形・地質・土壌・植生）から、古今東西の自然環境と歴史環境を复原。
- ・GIS（地理情報システム）を用いて、新旧の地図から地域の土地の生い立ちと歴史を复原。
- ・現在と異なる自然環境のもと詠まれた万葉集や、古典に記された自然を复原。
- ・国土地理院や国土交通省の微地形分類図の監修を約20年以上協力。
- ・治水地形分類図の作成作業の監修（四国の全河川、北上川、狩野川、遠賀川など）。
- ・科研費補助金をいただき、高校の地理総合のコンテンツ作成と高校教員との懇談など。

今の分野をめざそうと思った理由、きっかけを教えてください。

高校生のころ、歴史に興味がありましたが、体調を崩したことで、リハビリを兼ねてフィールドワークができる分野を探して、自然と人間の関わりを明らかにする地理学にたどりつきました。



教員や学生の皆さんといっしょに

学部を盛り上げたいです

研究・調査で大変なことはありますか（今までにこの調査は本当に大変だった、など）。

広島県大田荘の調査協力で、ひと夏つぶして、現地の法務局でおよそ200枚の古地図記載の水路、里道を白地図に書き写して、印刷用のマイラーを作成したことです。



先生の研究室の学生はどのようなテーマに取り組まれていますか？

GISを用いて地域の新旧の地図や写真を重ね合わせ、地域の環境変化を理解し、そこから土地の生い立ちや土地利用の変遷の歴史的事実を踏まえ、今後の防災・減災につながる情報を読み解いて解析していくようなテーマが多いです。

歴史的に永続している集落や生業は、今後の持続可能な社会の知恵につながり

ますし、受け継がれてきた文化財がなぜ私たちの目の前にあるのか、それを次の世代に繋ぐにはどうすれば良いかを考えていただいています。

話は変わりますが、趣味や休日の過ごし方を教えてください。

疲れた時はひたすら寝ています。

また、あちこちに出かけていき、現地で新しいものを再発見したり、地元の人々と交流をしたりします。

あまり、出かけられていないのですが、海外へも行きたいです。

先生の性格を一言で言うと？座右の銘はなんですか？

「なんとかなる」「経験から考える」です。

学部長としての意気込みをお願いします。

教員や学生の皆さんといっしょに、学部を盛り上げたいです。

文化財学科をめざしているみなさんへメッセージをお願いします。

さまざまな文化財をとらえて地域を知り、先人の知恵を学びましょう。

素材は無限大ですし、文化財が守られてきた環境を知ることで、これからの災害から生き残る知恵を手にすることができると思います。

自然と先人からの無言のメッセージを五感をとらえて受け止めて、一緒に楽しく考えましょう。



研究紹介

第17回「特色ある教育・研究」全学発表会

「特色ある教育・研究」事業は、若手教職員の育成、外部資金の獲得支援ならびに業務基盤の強化を目的に、学内教職員から広く募集を行い、本学における教育・研究の質向上ならびに、地方大学として地域活性化、地域貢献に資する事業を支援するものです。採択された前年度終了研究者は研究成果を口頭発表し、その内容を本学研究紀要にも掲載しています。



● 第17回「特色ある教育・研究」全学発表会で口頭発表をした2023年度終了研究者の研究テーマは以下のとおりです。

2023年度終了研究者の研究テーマ	研究者
薬学生の「Virtual Reality 臨床体験学習」 ～ With コロナ時代に対応した新たな実践体験教育へ変革～	中島健太郎 (香川薬学部)
看護基礎教育における教育 DX の学習効果	荒堀 広美 (保健福祉学部)
フッ素 MRI での検出を目指した多機能性核酸分子の開発	瀧 靖史 (薬学部)
遺伝子修復酵素 hOGG1 の分子論的病理解析	森川 雅行 (薬学部)
長鎖保護基の性質を利用した迅速ペプチド合成法を基盤とする 新型コロナウイルス感染症治療薬候補化合物の開発研究	葛西 祐介 (薬学部)
幼児の口腔機能と食の問題/困りごとに関する実践研究 ～家庭・園・歯科協働によるトレーニングメニューの開発～	十川 悠香 (保健福祉学部)
病原性微生物による危機的パンデミックに対処する画期的殺菌水の開発研究	大島 隆幸 (理工学部)
小学生のランドセル症候群の実態調査とその予防対策の検討 ～健康な心身を保つために～	後藤 強 (保健福祉学部)
新型コロナウイルス感染症の感染拡大が地域住民の社会的フレイルと筋内脂肪量に与える影響	笹山 明美 (保健福祉学部)
地域社会のゼロカーボン化に向けた建築サプライチェーンマネジメントの取り組み調査	上田 泰史 (人間生活学部)
シグナル光がもたらす光合成促進機構の解明	前田 淳史 (理工学部)
BUNRI-CN アンバサダーによる「脱炭素チャレンジカップ2024」への挑戦	藤巻 晃 (徳島C地域連携センター)

● 発表会参加者による投票で、2023年度終了研究者より下記の研究が優秀研究賞に選ばれ、発表会当日および合同教授会で表彰されました。

優秀研究賞の研究テーマ	研究者
薬学生の「Virtual Reality 臨床体験学習」 ～ With コロナ時代に対応した新たな実践体験教育へ変革～	中島健太郎 (香川薬学部)
シグナル光がもたらす光合成促進機構の解明	前田 淳史 (理工学部)



卒業生と大学をつなぐ
徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部同窓会

アカンサス会だより

百三十年

アカンサス会会長 田村 祥祐



今年、村崎学園は創立130周年を迎えます。百三十年前の1895年、時の総理は伊藤博文、日清講和条約の調印が行われ、現5千円札の顔になった津田梅子女史が大学前身の女子英学塾を興すのは5年後、その時代に我が母校の礎が築かれました。もちろんアカンサス会としても記念行事を実施致します。

世相も社会構造も生きる人間もどんどん変化していきます。現状の心地よさに留まり改革を阻止する人が居れば、後押しする人も、新しい環境に馴染めず逃げる人もいます。けれど継続させるためには常に前向きな改革を求められます。それを怠ったものは脱落の憂き目にあいます。戦禍も感染症も諸事を乗り越えた価値ある百三十年です。

昨年投稿後で弔意を語ることが出来ませんでした。本学では前理事長のご他界と言う悲しい出来事がありました。間際まで新設される高松駅キャンパスへの期待を聞かせていただきました。お若い新理事長の下、前理事長のレガシーの幕開けを伴う価値ある百三十年です。

所属した時代は違えども共有する話題の確認には事欠かないひと時と存じます。アカンサス会は徳島・香川両県で「ホームカミング」を開催いたします。ぜひお誘い合わせの上ご参加いただき、会員同士のご交流をお楽しみ下さい。なお、今回は諸般の事情により、会員・特別会員のみの参加となっておりますのでご留意願います。当日会場でお会いできることを楽しみにお待ちしております。

ご案内 「ホームカミング」開催のご案内 (参加無料)

学園創立130周年を記念して「ホームカミング」を開催いたします。「ホームカミング」とは、同窓会活動の一環として10年ごとに実施しており、卒業生が一堂に会し、恩師や友人との語らいを楽しんでいただくイベントです。

徳島会場	2025年10月13日(月)・祝	JR ホテルクレメント徳島 徳島県徳島市寺島本町西1-61
香川会場	2025年10月18日(日)	午前 高松駅キャンパス 香川県高松市浜ノ町8-53
		午後 JR ホテルクレメント高松 香川県高松市浜ノ町1-1

役員会 2024年アカンサス会本部役員会において、下記のとおり承認されました。役員は次のとおりです (敬称略)。

【会 長】 田村 祥祐
 【副会長】 石川 慎也・堤 美代子・平 哲也・藤井 直樹・松下 純子・犬伏 知子・岡山 千賀子
 【理 事】 大久保 純子・平野 享子・清久 加代子・石川 弥加・河野 美代・遠藤 真由美・福田 恵・小川 直子・松浦 紀子・野田 由美子・小川 嘉弘・長江 優太・大城 泰博
 【幹 事】 市原 暁子・宗野 真和・上岡 愛・川田 真理・河野 真由美・三宅 幸・森本 滋郎・安藝 誠二・元木 努・紫藤 容子・廣瀬 勝盛・藤巻 晃・板東 博士・福原 泰子
 【顧問】 田村 禎通・村崎 文彦・藤田 義彦・高橋 倫子
 【参 与】 佐々木 尊・佐々木 和昭
 【監 事】 早雲 洋一・長尾 久美子
 【徳島県支部長】 河野 司 (同副支部長・幹事) 井村 幸子
 【香川県支部長】 今村 幸太郎 (同事務担当) 三好 真千
 【沖縄県支部長】 小池 伸彦 (同事務担当・幹事) 佐賀 啓子
 【高知県支部長】 中村 達彦 (同事務担当) 長濱 太造
 【愛媛県支部長】 宇田 雅実 (同事務担当) 板東 秀子
 【アカンサス会事務局・理事】 入野 恵子

1967年に設立されたアカンサス会は、徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部卒業の同窓生で構成され、会員相互の親睦をはかるとともに卒業生と母校との連絡を密にし、母校の発展を期することを目的とした同窓会の名称です。本会ではこの目的を達成するために、親睦会・講演会・講習会の開催などの事業を行っています。また、2009年に徳島県支部・香川県支部、2011年に沖縄県支部、2017年に高知県支部、2018年には愛媛県支部が発足しました。各支部とも各県出身者を中心にそれぞれ活動を行っています。

さらに、毎年アカンサス会会員の皆さまに「徳島文理大学通信アカンサス」をお送りし、現在の大学の状況をお知らせしています。また、今後のアカンサス会活動につきまして、皆さまのご意見をお待ち申し上げております。

アカンサス会事務局

〒770-8514 徳島市山城町西浜傍180
徳島キャンパス アカンサス会事務局
TEL・FAX: 088-602-8726 (直)
平日【月～木】10:00～14:30【金】10:00～14:00
E-mail: acanthus@tks.bunri-u.ac.jp
※氏名・住所など変更の場合は必ずご連絡ください。



アカンサス会支部からのお知らせ

徳島県支部

徳島県支部長：河野 司

平素は徳島県支部の活動にご支援・ご理解をいただき、ありがとうございます。2024年度支部総会および交流イベントは、6月1日(日)「マリオッティ先生と読み解く、有名なピアノ曲に隠された秘密の物語」、また他には、8月2日(金) 小中学生対象の「夏休みの宿題(絵画)を楽しみながら描こう」と、10月19日(日)「大学のトレーニングセンターで身体を動かしてみよう」を盛況のうちに開催できました。2025年度につきましても同様の企画を計画中です。アカンサス会 HP にてご案内させていただきます。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

今年は学園創立130周年の佳節。同級生にお声掛けをしていただき、久しぶりにホームカミングや支部イベントにぜひご参加くださるようお願いいたします。



香川県支部

香川県支部長：今村 幸太郎

平素は香川県支部の活動に多大なるご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。2024年度の活動は、一昨年に続き、毎年大好評いただいている日帰り親睦会旅行(淡路島)、杏樹祭での模擬店出店を開催しました。親睦会旅行では、ゴジラの体験型アトラクションで、皆さんが童心にかえり、大はしゃぎしていたのがとても印象に残りました。さて、新キャンパスでの開催となる2025年は、昨年同様に「杏樹祭に卒業生の模擬店出店」「在学生・卒業生と行く日帰り親睦会旅行」に加え、昨年実施できなかった「ツールド文理大」を必ず企画・実行したいと考えております。卒業生の皆さま、新たな思い出を在学生と一緒に新キャンパスで作りませんか？そして未来ある後輩の為、いろいろご提案いただけましたら助かります。以上、何卒よろしく願い申し上げます。



沖縄県支部

沖縄県支部長：小池 伸彦

平素はアカンサス会沖縄県支部の活動にご理解・ご支援をいただき、ありがとうございます。今年度から私も4年間を過ごした志度キャンパスが高松駅横に移転されるとのことで、寂しいような新しい文理大の始まりに楽しみのような気持ちでおります。さて、昨年度の支部総会は諸般の事情で開催を見送らせていただきました。ここ数年皆さまとお会いできる機会がもてないまま時が過ぎてしまいましたこととお詫び申し上げます。2025年度の支部総会につきましては開催が決定次第、アカンサス会 HP のほか、沖縄タイムスや琉球新報など県内紙でご案内させていただく予定です。その際には沖縄県支部の会員の皆さま多くのご参加をよろしくお願い申し上げます。

高知県支部

高知県副支部長：須内 康雄

平素は高知県支部の活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。私は10月のWebでの役員選によって新たに支部長に就任予定の須内でございます。本会の充実・発展に努めてまいりますので、会員の皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。2024年度は8月に役員会、10月にWeb総会を開催しました。今年度は総会と文化講演会を実施する予定です。総会は事業計画や予算案などの審議・承認を事前にWebで済ませておき、総会当日は参加者の交流に時間を充てるように努めます。今後とも本会ならびに母校の発展のために、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

愛媛県支部

愛媛県支部長：宇田 雅実

平素より愛媛県支部の活動にご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。愛媛県支部では、毎年恒例の会報2024を発行しました。また9月28日(日)に5年ぶりの総会を開催し、香川薬学部教授芳地一先生に講演をしていただきました。その後、懇親会を行い、たくさんの方に参加していただき感謝申し上げます。2025年度も開催予定です。日時が決定次第、愛媛県支部会報にてご案内させていただきます。多くの方に愛媛県支部の活動に参加していただきたく、ご意見・ご提案と一緒に活動していただける方を募集しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

アカンサス会 支援金をいただいた方の氏名一覧

アカンサス会員(敬称略)

あ 浅井 健司	お 大木翔太郎	た 平 哲也	の 野尻 幸江	藤巻 純子
い 池田 浩	大久保純子	竹崎美由紀	は 橋本 容子	ほ 本田 清美
市原 暁子	小川 直子	多田 一子	ひ 東 邦彦	ま 前田 佳子
犬伏 知子	小川原 章	田中キミ子	平尾 真人	正木真希代
井上 和也	か 加賀山美智子	田村 祥祐	廣瀬 和美	松岡 秀己
猪原 史公	榎本 生子	つ 辻 厚巳	廣瀬 勝盛	松下 純子
今井 素子	片山こすえ	て 手塚 恭子	廣瀬 孝子	松田 泰幸
井村 幸子	加藤 陽	と 徳永富士夫	廣瀬 芽生	み 道上 紀子
入野 恵子	き 清岡志津香	な 永井 久江	ふ 福田 一幸	む 六車 晃子
岩本 泰子	さ 佐光 由子	長尾久美子	福原 榮子	も 森 みずほ
う 上岡 愛	里村 幸宏	中根 徳人	福原 延隆	森安 輝美
植田つきみ	澤田 正代	中野 優	福原 泰子	よ 吉岡 達哉
宇根 実玲	し 城戸 麻里	に 西 和代	藤枝 源子	吉田 久見
宇野 祐子	す 鈴木小百合	西林 伸幸	藤巻 晃	
え 榎内 光子	そ 祖川 絵美	西村佳代子		

特別会員等※(敬称略)

い 犬伏 茂則	さ 佐藤 實	は 橋本 久一
か 梶山 博司	し 白石 勝美	ひ 平賀 幸夫
川端 恵子	た 田主 澄三	ま 松原 伸夫
き 貴志知恵子	つ 津田 とみ	も 森岡 英之
木村 昌雄	津守 美鈴	森田 孝夫
桐野 豊	な 長井 定明	よ 吉岡 三郎
く 熊野 直樹	那住 公子	
こ 後藤 立夫	に 新居 弘道	

アカンサス会員……………72名
特別会員等……………22名
合 計……………94名

匿 名……………2名

10万～49万……………1名
5万～9万……………2名
1万～4万……………93名
合 計……………96名

(2025年2月現在)

※卒業生でない本学の教職員で、同窓会に入会していただいた方や奨学金の趣旨に賛同し、支援金を寄付していただいた方。

2025
年度

各県支部総会・交流イベントのご案内

アカンサス会には、徳島県支部・香川県支部・沖縄県支部・高知県支部・愛媛県支部があります。

2025年度の各県支部の総会および交流イベントの開催については、詳細を大学のHPに掲載します。右の二次元コードよりご覧いただけますようお願いいたします。

お問い合わせ先

徳島県支部
沖縄県支部
高知県支部

〒770-8514 徳島市山城町西浜傍180 徳島キャンパス アカンサス会事務局
E-mail: acanthus@tks.bunri-u.ac.jp
TEL・FAX: 088-602-8726 (直)
【平日】月～木曜日 10:00～14:30 / 金曜日 10:00～14:00

香川県支部
愛媛県支部

〒760-8542 香川県高松市浜ノ町8-53 高松駅キャンパス
E-mail: acanthus@kgw.bunri-u.ac.jp
TEL: 香川県支部 087-899-7403 (就職支援部 近藤)
愛媛県支部 087-899-7598 (教務部 板東)

●詳しくはアカンサス会のホームページをご覧ください。

<https://www.bunri-u.ac.jp/acanthus/>



開催 2025年度 保護者会支部会 ～大学と保護者の皆さまを結ぶ架け橋～

保護者会では、在学生の保護者の皆さまに大学の現状や取り組みについてお伝えするとともに、お子さまの修学や学生生活、就職・進路等大学生活全般に関する不安・心配事の解消を目的とした教職員による個別面談や全体説明会を実施しています。会場へはお子さまの所属する学科の担任やチューターが赴き、直接お一人おひとりへ、学業成績や科目履修状況・出席状況等をお伝えし、学生生活全般についての相談をお受けします。今後の進路や就職等については、就職支援部の教職員と個別相談をすることも可能です。

2025年度は、8月23日(土)の徳島会場を皮切りに、全国15会場での開催を予定しています。詳細につきましては7月ごろ、各ご家庭へ案内状をお送りします。

保護者会は、大学と家庭を結ぶ架け橋として、また会員相互のコミュニケーションの場としてさらなる充実発展を図っていきたくと考えています。ぜひお近くの会場へ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



保護者会HP



支部会総会（徳島）

支部会総会（沖縄）

就職相談



個別懇談（食物栄養学科）

個別懇談（理学療法学科）

個別懇談（香川薬学部）

2025年度 保護者会支部会 日程	
支部	開催日時・会場
徳島	8月23日(土) 13:00～ 徳島文理大学 徳島キャンパス
鳥取・島根	8月24日(日) 13:00～ 米子ワシントンホテルプラザ
北九州	8月30日(土) 13:00～ 福岡ガーデンパレス
南九州	8月30日(土) 12:30～ ダイワロイネットホテル鹿児島天文館
兵庫	8月30日(土) 13:00～ 神戸三宮東急REIホテル
沖縄(那覇)	8月30日(土) 13:00～ パシフィックホテル沖縄
沖縄(名護)	8月31日(日) 13:00～ オキナワグランメーラリゾート
和歌山	8月31日(日) 13:00～ 和歌山県JAビル
東海	8月31日(日) 13:00～ 名古屋ガーデンパレス
香川	9月6日(土) 13:00～ 徳島文理大学 高松駅キャンパス
高知	9月7日(日) 13:00～ 三翠園
大阪	9月7日(日) 13:00～ 大阪ガーデンパレス
愛媛	9月13日(土) 13:00～ ANAクラウンプラザホテル松山
岡山	9月13日(土) 13:00～ ピュアリティまきび
広島	9月14日(日) 13:00～ 広島ガーデンパレス

2024年度 退職者一覧

▶大学

- 田村 慎通 (徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 学長)
- 福本 昌之 (一般総合 社会 教授 B)
- 笠井 敬正 (人間生活学部建築デザイン学科 准教授)
- 池添 純子 (人間生活学部人間生活学科 准教授)
- 新居恵里佳 (人間生活学部食物栄養学科 実験助手)
- 西浦 早紀 (人間生活学部食物栄養学科 実験助手)
- 中面 敦志 (人間生活学部食物栄養学科 実験助手)
- 竹内 圭三 (音楽学部音楽学科 准教授)
- 永浜 政博 (薬学部薬学科 教授)
- 畠山 大 (薬学部薬学科 准教授)
- 田村 穂 (総合政策学部総合政策学科 講師)
- 小南きよみ (保健福祉学部看護学科 教授)
- 藤岡 譲 (保健福祉学部臨床工学科 教授)
- 保田 定利 (保健福祉学部診療放射線学科 教授)
- 木野 綾子 (保健福祉学部人間福祉学科 教授)
- 橋本 文子 (保健福祉学部看護学科 教授)
- 松崎 健司 (保健福祉学部診療放射線学科 教授)
- 坂本 恵子 (保健福祉学部人間福祉学科 講師 B)
- 佐々木 亨 (文学部日本文学 教授)
- 近藤 政行 (文学部日本文学 教授)

- 坂見 健二 (理工学部電子情報工学科 助教)
- 芳地 一 (香川薬学部薬学科 教授)
- 石田 志朗 (香川薬学部薬学科 教授)
- 川添 哲嗣 (香川薬学部薬学科 准教授)

▶短期大学部

- 田尾 公生 (保育科 教授・情報センター長)
- 石井 恭二 (音楽科 准教授)
- 井内 孝明 (言語コミュニケーション学科 准教授・徳 就職支援部課長)
- 森 万里子 (保育科 准教授)

▶事務職員

- 福田トモコ (香 教務部教務課 係長)
- 竹下 文人 (香 総務部施設用度課 技師)
- 竹下 修子 (香 総務部施設用度課 技師)
- 吉田 雅雄 (徳 総務部施設用度課 技師)
- 吉田 照美 (徳 総務部施設用度課 技師)

▶年度途中退職者

- 山下 司 (保健福祉学部理学療法学科 助教) (2024.12.31 付)
- 郡 通子 (徳 総務部 課長) (2024.12.31 付)

追悼



阿部 頼孝 名誉教授
(元短期大学部長)

2025(令和7)年2月10日(月)、阿部頼孝先生がご逝去されました。75歳でした。

阿部先生は1983(昭和58)年4月短期大学部商科に講師として入職、その後助教授を経て、2018(平成30)年まで教授を務められました。その間1999(平成11)年4月から2009(平成21)年3月までの10年間、長きにわたり短期大学部長でもありました。

また2013(平成25)年4月から2017(平成29)年3月の間、村崎凡人記念図書館長を務められました。

トレードマークの蝶ネクタイと朗らかなキャラクターが人気の先生でした。

謹んでお悔やみ申し上げます。

村崎学園紹介

学校法人村崎学園は、1895(明治28)年、創立者村崎サイの「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念のもと設立されました。その信念は建学精神「自立協同」としてその後の学園経営の基礎となり、またゆるぎない教育の目標として一貫して受け継がれてきています。

学園創立50周年にあたる1945(昭和20)年には、戦火によって総てを失い創立者もまた校舎と運命を共にいたしました。戦野から帰還した第二代理事長村崎凡人は、サイの意志を承け、学園の復興に精魂を傾け、幼稚園から大学院までを完成

し、総合学園として、独立心と国際性豊かな人材の育成に励みました。

その後、村崎正人前理事長は、社会の変化を踏まえた教育の充実を図り、大学において、徳島キャンパスに総合政策学部、香川キャンパスに理工学部・香川薬学部・両キャンパスにまたがる保健福祉学部を設置し、現在では大学・短期大学部合わせて9学部28学科、6大学院、3専攻科、そして5研究所、1相談室を有する文理融合の総合大学へと発展させました。

幼稚園・小学校・中学校・高等学校を擁した学

学園本部お問い合わせ
〒770-8560 徳島県徳島市寺島本町東1-8
TEL : 088-622-0097

園においては、幼稚園から大学院までの一貫教育体制が確立している中で幅広く教育の場を提供しています。優れた教職員と最新鋭の施設・設備の整った「安心」「安全」な教育環境のもと成長を継続して支援することにより社会の多様な要請に応える人材育成に力を注いでいます。

学園は建学精神を体し、それぞれの学校が自立して相互に連携している共同体です。先人の残した精神・教育・伝統のもと、今後とも幼稚園から大学院までの各校が協同し、私学教育発展のためさらなる進歩を続けてまいります。



■徳島文理大学附属幼稚園 URL : <https://bunri-u-k.jp/>

本幼稚園は、学園の建学精神である「自立協同」を基本的理念とし、具体的なものとして「健康・知性・徳性」の3つの基本的教育方針を掲げています。それに沿って子どもたちを育成し、徳島文理小学校・中学校・高等学校への教育につなげています。

また、子どもたちが良い環境下で多くのことを経験すれば、子どもたちの能力は驚くほど伸びるものと考え、本園では望ましい環境づくりに全力を尽くしています。大学附属幼稚園としての利点を十分にいかし、充実した施設・設備と優秀な教員がそろった総合大学の協力体制のもと、質の高い保育をめざしています。

さらに、保護者の方とのコミュニケーションを大切にし、満3歳児保育や預かり保育など子育て支援にも力を注ぎ、幼児が家庭から離れて社会生活を開始する第一歩を、安全で安心して踏み出せるようサポートしています。今後とも学園の一貫教育の一翼を担う幼稚園としての責任を果たしたく思っています。

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍示2 TEL : 088-653-4941



■徳島文理小学校 URL : <http://bunri-e.ed.jp/>

本小学校では、建学精神「自立協同」をもとに、校訓を「正しく 強く 美しく」と定め、知・情・意・体の調和のとれた人間性豊かな人材の育成をめざしています。

児童にとつて、安全で学びやすく整備された施設・設備の中で、6年間で公立学校の7年間分の授業時数を確保し、本小学校独自のカリキュラムを編成して教育内容を充実しています。具体的には、低・中・高学年別の3つの図書室と学級文庫を利用した読書指導に力を入れ、毎日の日記指導などとも合わせた言語能力の育成をしています。また、最新のタブレット等を導入した情報活用能力の育成にも力を入れています。そして、英語は開校以来、全学年で週2時間を教科として特設し、段階的・発展的に授業を展開しています。高学年では、そのうち1時間をネイティブスピーカーが指導し、将来使える英語の基礎を培っています。さらには、全校茶会や一味会(音楽・英語劇)、古典音読、百人一首、四字熟語・ことわざかるた等々に取り組み、日本の伝統文化にも慣れ親しんでいます。情操面においても、人を思いやる心・あいさつやマナー・感謝の心等を育てることに取り組んでいます。

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍示 68-10 TEL : 088-652-5567



■徳島文理中学校・高等学校 URL : <http://bunri.ed.jp/>

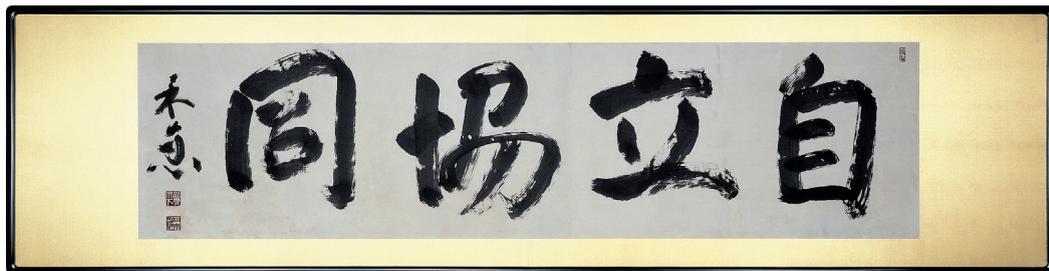
最新の耐震基準に基づく安心・安全な校舎、充実した施設設備と本格的な日本庭園、広々とした運動場など、私学ならではの理想的な教育環境となっています。

中高一貫教育の継続的・系統的な指導と先取り学習によって生じるゆとりのなかで、高い目標に向かって切磋琢磨する生徒と経験豊富な教職員との信頼関係が、東大14人(理Ⅲ6人)、国立大医学科162人、徳島文理大165人(過去10年間)に代表される顕著な合格実績を生んでいます。

文化祭・体育祭・海洋研修・広島研修・オーストラリア語学研修・スキー研修・東京研修など、多彩な学校行事を実施しています。活躍する部活動を応援し、マイペースの楽しい部活動も奨励しています。放課後は各種部活動に参加したり、自学道場と名付けた自習室でお互いに励まし合い、刺激し合いながらそれぞれのペースで学校生活を楽しんでいます。

自立協同の建学精神のもと、品位と知性を行動規範として、それぞれの志を達成し、世のため、人のために貢献したいと真摯に努力しています。

〒770-8054 徳島県徳島市山城西4丁目20 TEL : 088-626-1225



徳島文理大学の建学精神

徳島文理大学の建学精神は、「自立協同」である。

この建学精神は、学祖村崎サイが明治28年（1895年）7月徳島に私立裁縫専修学校を設立した歴史に由来する。学祖は、「女も独り立ちが出来ねばならぬ」との信念を持ち「女性の自立」を唱えて村崎学園を創立した。昭和20年（1945年）7月、学園は戦火に包まれ灰燼に帰し、村崎サイも学園と運命を共にした。その年の秋、戦野から帰還した村崎凡人第二代理事長は、学園の復興に精魂を傾け、総合学園の建設を目指した。その過程で、「他からの協力、他への協力なくして、『人間の自立』はあり得ない。」との確信に至り、学祖村崎サイの精神を受け継ぎ、「村崎学園」の建学精神を「自立協同」としたものである。

この建学精神の意味するところは、成長してゆく人間として、「自立」は重要な到達目的であり、「協同」は「力を合わせて物事をする」ことなので、個としての「自立」は、「協同」すなわち「他からの協力、他への協力」という体験の中で促される。「人」はその体験を通して人間的な成長を遂げる。学園における教養的教育、専門的学術・芸術探求の教育は、まさに「人間の自立」を促す「協同」の場であらねばならない。

爾来、学園はこのような歴史に基づいた「自立協同」の建学精神のもと、教育を推進し、幼、小、中、高、短大、大学、大学院併せて9学部28学科、6研究科、3専攻科、そして、5研究所、1相談室を有する総合学園として発展してきた。

今後とも建学精神のもと、ますます精進し、学術・芸術の探究を通して未来を創造する大学でありたいと願っている。

2025 オープンキャンパス日程

徳島キャンパス (10～15時)	4月27日(日)・6月15日(日)・7月13日(日)
	7月26日(土)・8月24日(日)・9月14日(日)
高松駅キャンパス (10～15時)	4月26日(土)・6月21日(土)・7月12日(土)
	8月3日(日)・8月24日(日)・9月20日(土)

大学公式 SNS をフォローしよう！

大学の最新情報を随時更新しています！



X (徳島 C)



X (高松駅 C)



Instagram



TikTok

徳島キャンパス (徳島県徳島市山城町)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／人間生活学研究科(博士課程)／看護学研究科(博士課程)／総合政策学研究科(修士課程)
- 専 攻 科……人間生活学専攻科(児童学専攻・人間生活学専攻)／助産学専攻科／音楽専攻科(器楽専攻・声楽専攻)
- 薬 学 部……薬学科
- 人間生活学部……食物栄養学科／児童学科／心理学科／メディアデザイン学科／建築デザイン学科／人間生活学科
- 保健福祉学部……口腔保健学科／理学療法学科／看護学科／人間福祉学科
- 総合政策学部……総合政策学科
- 音 楽 学 部……音楽学科
- 短期大学部……商科／言語コミュニケーション学科／生活科学科／保育科／音楽科

高松駅キャンパス (香川県高松市浜ノ町)

- 大 学 院……薬学研究科(博士課程)／工学研究科(博士課程)／文学研究科(博士課程)
- 香川薬学部……薬学科
- 保健福祉学部……診療放射線学科／臨床工学科
- 総合政策学部……経営学科
- 理 工 学 部……ナノ物質工学科／機械創理工学科／電子情報工学科
- 文 学 部……文化財学科／日本文学科／英語英米文化学科

徳島文理大学ホームページ

<https://www.bunri-u.ac.jp>



校章の由来 …Acanthusとは、アカンサス属の一種、アカンサス・モルリスの葉で、別名ハアザミ。その刺は、事に当たって厳正、的確に処理する優れた知性を、その葉は古代ギリシャの美または芸術に通ずる豊かな情操を具象化し、本学の建学精神である「自立」を具現化した科学と芸術を示すものとして校章に制定されました。



(公式 HP) QRコード